

鈴鹿、竜ヶ岳

平成 28 年 1 月 27 日 (水)

岡本 (記)、鳴原

この時期、もう少し本格的な雪山に行きたいところだが、天候不順や体調不良が重なり、中々思うようにいかず、結局日帰りの鈴鹿にした。そこで、今冬、まだ一度もスノーシューを履いていないこともあり、使えそうな竜ヶ岳に向かう。

朝、6時半に鳴原車に迎えに来てもらい、名阪・東名阪経由、四日市 I C で降りる。雪は思った程

積もっていなかったが、流石に登山口の宇賀川溪谷まで来ると道路を除き積雪がある。駐車場に着くと結構車も駐まっております、ラッセルの心



(林道・遠足尾根分岐付近)



(登り岩場から見た竜ヶ岳)

配はなさそうだ。準備をし、午前 9 時出発。20 分程雪の積もった林道を歩くと遠足尾根への分岐だ。そこから杉の植林帯を一気に標高 500m 程、約 1 時間掛けて登る。ここが一番きつい登りで、尾根の手前に展望の利く岩場があり、そこから更に 100m 程で遠足尾根にでる。



(遠足尾根から竜ヶ岳)

尾根に入ればスノーシューを履こうかと思ったが、雪もそれほど深くなく踏み跡もしっかりしているので、何も付けずに歩く。遠足尾根の中程まで来ると、竜ヶ岳の頂上もよく見えてくる。徐々に雪が深くなり、踏み跡はあるもののかなり沈む。鳴原さんはそのまま進んで行ったが、自分はここでスノーシューを履くことにした。久々なので装着に少し手間取ったが、やはり雪の深いところはこちらの方が歩きやすい。

尾根も上部に行くと流石に少し風が強くなる。しかし、この時期としては気温も高く、大した寒さではない。最後の急な登



(山頂証抛写真)

りを登り切ると、平たい頂上に着く。頂上付近は風の通り道になっており、標識のある辺りの雪は飛ばされている。風も強いので、少し降りたところで昼食を取る。

下山路は金山尾根に行く。この尾根は分岐から少し展望の利く尾根が続くが、その後は一気に沢まで下っていく。スノーシューも外し、腐った滑りやすい雪の急坂を標高差 700m 近く一気に下る。後は、沢沿いの道を少し歩き、最後



(山頂から見た御池・藤原岳)



(休憩場から見た竜ヶ岳)

に林道を20分程歩く。

駐車場着は午後2時半頃と、登り3時間半弱、下り2時間程度の、程よい日帰り山行でした。ただ、天候がもう少し良ければ少しはましな写真が撮れたと思うのだが、偶に晴れ間がのぞいたものの、曇天のため、あまり綺麗な写真が撮れなかったことが残念でした。